

ブによく似た植物であったという。

末文ながら、貴重な標本を恵与された深町宗通氏、本種の♀を検査する機会を与えて下さった黒沢良彦博士に感謝したい。

*) 模式標本には種名を示すラベルが一枚あるだけで、産地、日付を示すラベルはまったく付いていない。(黒沢良彦, 1970, 日本産タマムシ科解説9, 甲虫ニュース No.11より)

(㊤110 台東区台東2-29-6)

札幌におけるシリグロナカボソタマムシの記録 安井 正

シリグロナカボソタマムシ *Coraebus kiangsuanus nigromaculatus* Y. KUROSAWA は、現在までの採集例は数例しかないと聞いているが、筆者は1972年に札幌で1♀を採集したので報告しておきたい。今までは本州からのみ採集されており、今回の記録は北海道初記録と思われる。



1♀, 札幌市円山, 13. Ⅷ. 1972,
安井正採集

円山動物園の北側を通過して、菴井山にいたる途中にある「宮が丘ユースホテル」前の側溝に落ちていたものを得た。この付近の道路は札幌オリンピックのために整備されたもので、その当時に側溝と水銀燈がつけられた。

なお、この側溝では本種と同時にエゾアカガネオサムシ(多数)・セダカオサムシ(2♀♀)・オオルリオサムシ(1♂1♀)・ヤバズカミキリ(1♂)などが採集された。

このシリグロナカボソタマムシの標本は現在、北海道大学農学部・応用昆虫学教室に保管されている。

(㊤065 札幌市北区北26条西6)

オオウグイスナガタマムシの東限記録

藤田 宏

オオウグイスナガタマムシ *Agrilus asiaticus igai*



Y. KUROSAWA は本州・九州・対馬より記録されており、本州においては主に関西以西で得られている。東限は長野県伊那谷とされている*が、筆者は東京都下産の標本を所持しているので記録しておきたい。

Iex., 東京都下町田市鶴川,

9. Ⅷ. 1972, 小倉直樹採集

*) 黒沢良彦(1974): 日本産タマムシ科概説(10), 甲虫ニュース Nos. 17-18

(㊤110 台東区台東2-29-6)



小笠原父島における

アカアシハナコメツキの採集例

鈴木 亘

アカアシハナコメツキ *Dicronychus (Platynychus) adjutor* (CANDEZE) は、本州・四国・九州・琉球・台湾・朝鮮などに分布するが、あまり多い種ではないようである。小笠原父島における本種の記録は、VAN ZWALUWENBURG (1957)* に未同定のものとして報告されているだけで、その後の報告はない。しかし筆者は幸いにも父島で採集された本種を検査することができたので、ここに報告しておく。

1♀, 父島三日月山,

30. Ⅴ. 1975, 藤田宏採集

末筆ながらこの発表にあたり色々とお知らせ頂いた大平仁夫博士、ならびに貴重な標本を恵与された藤田宏氏に深く感謝する。

*) VAN ZWALUWENBURG, R. H. (1957) Insects of Micronesia (Coleoptera: Elateridae), Ins. Micronesia, 16(1): 62-63.

(㊤156 世田谷区桜3-14-13)

沖縄本島でイリエシラホシ

サビカミキリを採集

酒井 案理

イリエシラホシサビカミキリ *Mycerinopsis (Zotale)*